



★イサキは大小交じりでダブル、トリプルも



★当日最大は1.5キロのカンパチ。船長によるとカンパチは1.5〜3キロ級が年内は有望とのこと

泳がせとコマセ釣りをダブルで楽しむ 南房のスペシャルメニューはいかがが！

南房相浜港出船

撮影◎鈴木良和



▲イサキは30センチ級もしばしば
◀メジナも釣れる

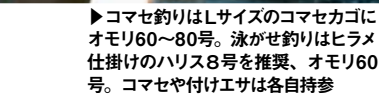


◀胴つき仕掛けにサバの切り身でカサゴが上がった

▼アカハタはルアーでキャッチ



◀釣り場は相浜沖の水深7〜18メートル前後



▶コマセ釣りはLサイズのコマセカゴにオモリ60〜80号。泳がせ釣りはヒラメ仕掛けのハリス8号を推奨、オモリ60号。コマセや付けエサは各自持参



▲オマツリしなければ2本竿もOK

釣り物豊富な南房エリアで、泳がせ釣りとコマセ釣りをダブルで楽しむスペシャルメニューを得意としている船宿が相浜港の良栄丸。
出船後に港前にてサビキ仕掛けでアジを釣り、釣ったアジを泳がせてカンパチやヒラメを狙うもよし、マダイやイサキなど多彩に釣れるコマセ釣りでタイ五目に転じるもよし、同じポイントで釣り人がフリーに楽しめるスタイルが人気を博している。
取材日は速潮に苦戦しエサのアジがまったく釣れない想定外のスタートとなったが、タイ五目の仕掛けを下ろすとイサキが連発。マダイは顔を見せなかったが1.5キロのカンパチやアカハタが登場して釣果に華を添えた。
「うちはオマツリしなければエサ釣りと一緒にルアーも自由に楽しんでもらってます」と渡辺船長。
一日であれこれチャレンジしたいアグレッシブな釣り人はぜひ！
(詳細は48ページ参照)



●南房相浜港・良栄丸
渡辺 良男船長